

トラック輸送情報（平成23年7月分）

平成23年10月7日

国土交通省 総合政策局 情報政策本部 情報政策課 交通統計室

担当：中倉 内線28721

直通：03-5253-8347

ホームページ：<http://www.mlit.go.jp/k-toukei/index.html>

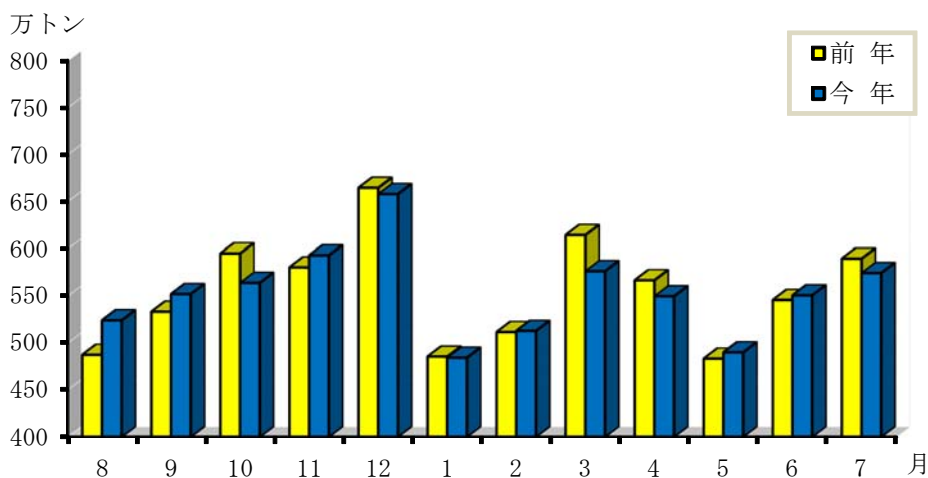
1. 特別積合せ貨物

(1) 本月の概況

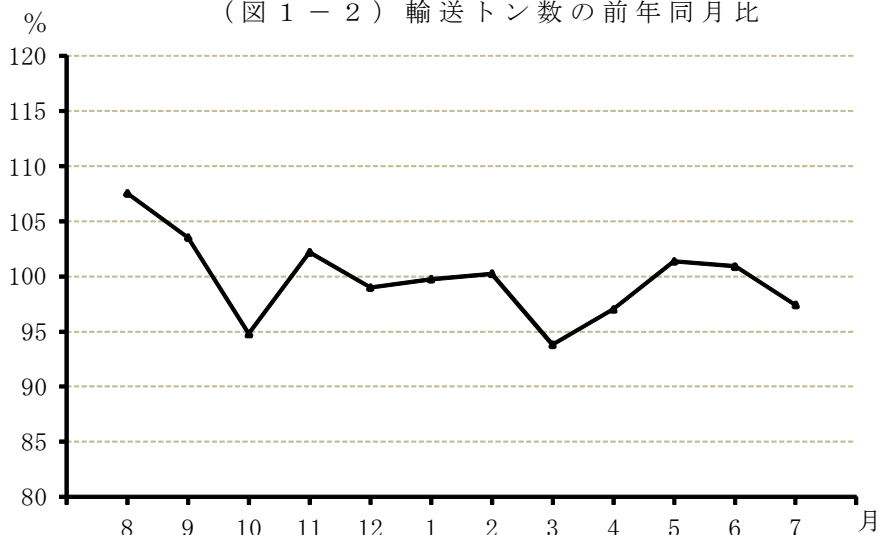
調査対象26社の本月の輸送量は、5,746,980トンで、前月と比べ総輸送量が約24万トン増加したため、前月比104.3%（季節調整済み99.2%）となり、前年同月との比較では、約15万トン減少したため、前年同月比97.4%の実績であった。（図1-1、図1-2参照）

なお、平均稼働日数は24.2日で、前月と比べ1.0日減少し、前年同月との比較では、0.8日減少であった。稼働1日当たりの輸送量は、237,479トンで、前月と比べ約1万9千トン増加したため、前月比108.6%となり、前年同月との比較では、約2千トン増加したため、前年同月比100.6%の実績であった。

（図1-1）輸送トン数の推移



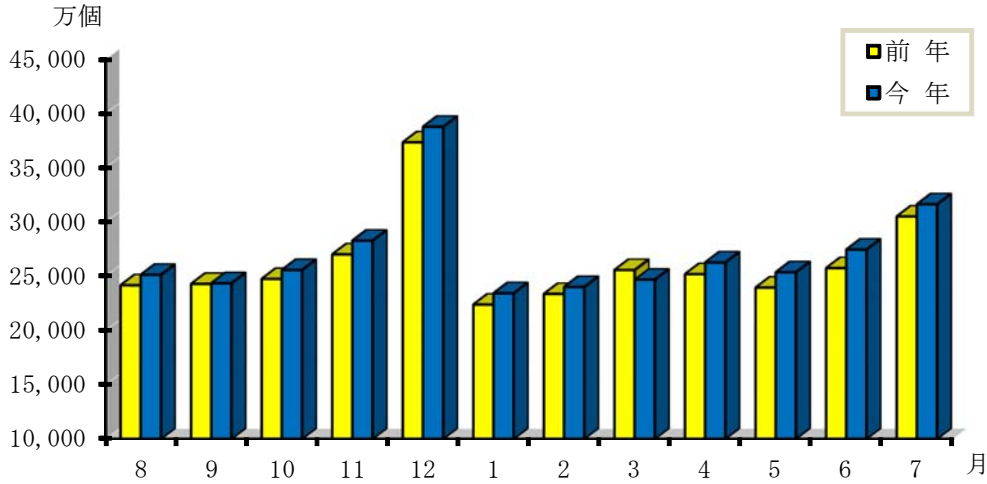
（図1-2）輸送トン数の前年同月比



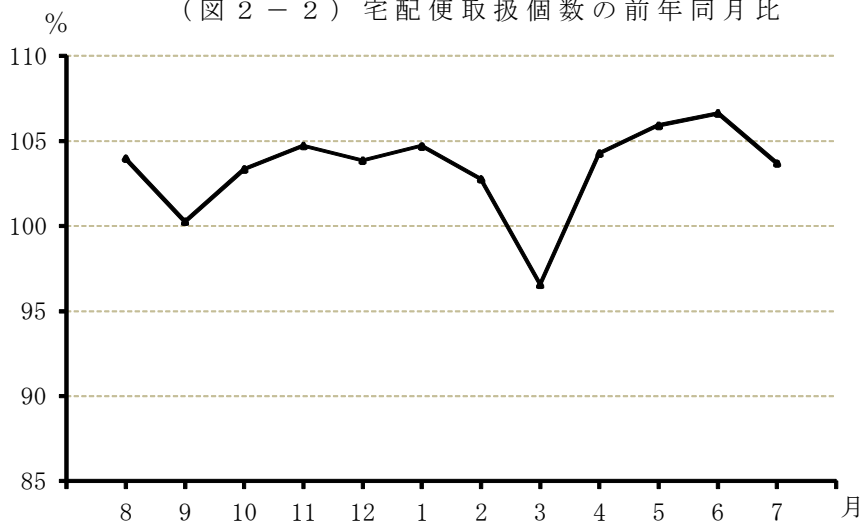
(2) 宅配便の概況

調査対象 17 社の本月の宅配便貨物の取り扱い個数は、316,442 千個で、前月と比べ 約 4,173 万個増加したため、前月比 115.2% (季節調整済み 97.6%) となり、前年同月との比較では、約 1,122 万個増加したため、前年同月比 103.7%の実績であった。(図 2-1、図 2-2 参照)

(図 2-1) 宅配便取扱個数の推移



(図 2-2) 宅配便取扱個数の前年同月比



(3) 調査対象 27 社(26 社及び品目別・地域別輸送状況回答 1 社)の品目別及び地域別輸送状況 (表 1 参照)

前月と比べると輸送量は増加したが、「金属製品」、「化学工業品」及び「繊維工業品」で、輸送量が減少したと回答する事業者が多かった。減少要因としては、工場・生産地からの貨物減が共通して見られたほか、倉庫から出る貨物減が「化学工業品」で見られた。「化学工業品」の主な減少地域は大阪、「繊維工業品」の主な減少地域は神奈川であった。

前年同月と比べると稼働日数の減少等により全体的に輸送量が減少した。減少要因としては、工場・生産地や倉庫からの貨物減が「化学工業品」、「繊維工業品」、「食料工業品」で、商社・問屋からの貨物減が「日用品」で見られた。地域的には、「食料工業品」は東北で、「日用品」は東北、関東、全国で減少している。

(表1) 品目別増減状況 (回答事業者数 27社)

品目	増減事業者数					主な増減品目 (上段が増加・下段が減少)	主な増減地域	※ 増減要因	
	著 増	増	変 ら ず	減	著 減				
前 月 に 比 べ て	農水産品	2	2	11	3		神奈川	4	
	金属製品		1	15	5			4	
	機 械		2	17	2			4	
	化学工業品			15	7		大阪	4, 7	
	繊維工業品			18	4		神奈川	4	
	食料工業品		2	15	3				
	日 用 品	2	3	11	6	書籍・印刷物	関東 全国	5, 8	
	そ の 他	2	2	13	4	1	神奈川、大阪	8	
前 年 同 月 に 比 べ て	農水産品	1	4	11	2	野菜	中国 関東	4	
	金属製品		2	15	4				
	機 械	1	3	12	4	1	東北		
	化学工業品		4	12	6			4, 7	
	繊維工業品		2	16	4			4	
	食料工業品		2	12	6	製造食品、飲料	東北		
	日 用 品		4	10	7	1	書籍・印刷物、その他の日用品	東北、関東、全国	5, 7
	そ の 他	1	6	9	3	3	神奈川、大阪		

(注) 「主な増減地域」については、16地域[全国、6大都市圏(東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡)及び地方運輸局(6大都市圏を含む場合はそれらを除く府県、九州は沖縄を含む)]単位である。
なお、地方運輸局に6大都市圏を含む場合は「～地方」と表記した。

※ 増 減 要 因	1. 新規荷主獲得(荷主契約解除)	6. 倉庫へ入る貨物増(減)
	2. デパート、スーパーの貨物増(減)	7. 倉庫から出る貨物増(減)
	3. 他機関から貨物が来た(へ流れた)	8. 季節的需要増(減)
	4. 工場・生産地からの貨物増(減)	9. 景気の好況(不況)
	5. 商社・問屋からの貨物増(減)	10. その他

2. 一般貨物

(1) 本月の輸送状況

全国の一般貨物トラック事業者（本月の回答事業者 803 社／調査対象事業者数 1,049 社）の輸送量は、前月比 103.0%、前年同月比 101.8%であった。

(表2) 地方運輸局別 前月比・前年同月比

	全 国	北海道	東 北	関 東	北 信	陸 越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄
前年同月比	101.8 %	113.6 %	97.2 %	99.4 %	96.8 %	95.0 %	96.1 %	95.9 %	101.6 %	104.0 %	97.7 %	
前 月 比	103.0 %	106.0 %	106.8 %	97.2 %	103.5 %	103.3 %	97.8 %	100.6 %	98.8 %	102.7 %	100.8 %	

(2) 本月の地方運輸局別管内輸送状況（各運輸局より回答のあったもの）

北海道	<p>本月の輸送については、対前月比106.0%、対前年同月比113.6%であった。品目別では、季節的需要増により「野菜・果物」の輸送量が増加したと回答する事業者が多かった。また、建設関連の需要増により「その他の窯業品」、「廃棄物」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、季節的需要減等により「その他の石油製品」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも増加傾向が予想される。</p>
東北	<p>本月の輸送については、対前月比106.8%、対前年同月比97.2%であった。品目別では、季節的需要増により「野菜・果物」、「食料工業品」が、景気の影響等により「機械」、「日用品」が、建設関連の需要増等により「鉄鋼」が、震災の影響により「セメント」、「廃棄物」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、季節的需要減等により「化学薬品」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
関東	<p>本月の輸送については、対前月比97.2%、対前年同月比99.4%であった。品目別では、季節的需要増により「野菜・果物」が、景気の影響により「機械」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、季節的需要減等により「その他の製造工業品」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
北陸信越	<p>本月の輸送については、対前月比103.5%、対前年同月比96.8%であった。品目別では、景気の影響等により「機械」、「その他の石油製品」が、季節的需要増等により「食料工業品」の輸送量が増加したと回答する事業者が多かった。一方、景気の影響による需要減等により「日用品」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送の見通しについては、次月は減少傾向、以降については横ばい傾向が予想される。</p>
中部	<p>本月の輸送については、対前月比103.3%、対前年同月比95.0%であった。品目別では、工場・生産地からの貨物増等により「機械」、「セメント」、「紙・パルプ」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、天候の影響により「水産品」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
近畿	<p>本月の輸送については、対前月比97.8%、対前年同月比96.1%であった。品目別では、倉庫からの入出庫増等により「金属製品」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、季節的需要減により「日用品」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
中国	<p>本月の輸送については、対前月比100.6%、対前年同月比95.9%であった。品目別では、季節的需要増等により「食料工業品」が、工場・生産地の需要増等により「その他の製造工業品」の輸送量が増加したと回答する事業者が多かった。一方、建設関連の需要減等により「機械」の輸送量が減少したと回答する事業者が多かった。今後の輸送の見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
四国	<p>本月の輸送については、対前月比98.8%、対前年同月比101.6%であった。品目別では、天候や季節的需要増により「食料工業品」が、省エネの影響により「日用品」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、工場・生産地からの貨物減等により「紙・パルプ」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
九州	<p>本月の輸送については、対前月比102.7%、対前年同月比104.0%であった。品目別では、工場・生産地からの貨物増等により「工業用非金属鉱物」、「その他の化学工業品」が、季節的需要増等により「食料工業品」が、輸出入及び商社・問屋からの貨物増等により「取り合わせ品」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、建設関連の需要減及び工場・生産地からの貨物減等により「機械」の輸送量が減少したと回答する事業者が多かった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
沖縄	<p>本月の輸送については、対前月比100.8%、対前年同月比97.7%であった。品目別では、輸出入貨物増により「金属くず」、「その他のくずもの」が、建設関連の需要増により「セメント」が、季節的需要増により「輸送用容器」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、商社・問屋からの需要減により「紙・パルプ」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送の見通しについては、次月は横ばい傾向、以降については増加傾向が予想される。</p>

(3) 運輸局別、品目別増減状況（対前月比）

回答のあった事業者数を取りまとめた。各欄のうち上段は増加、下段は減少件数である。

運輸局		北 海 道	東 北	関 東	北 陸 信 越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄	全 国 計
1. 穀物	増	1	1					1				3
	減		1		2			2		1		6
2. 野菜・果物	増	4	6	2			1		1	2		16
	減		1		2			1	1	3		8
3. その他の農産品	増	2							1	1		4
	減	3				1		1		1		6
4. 畜産品	増	1	1									2
	減							1				1
5. 水産品	増		1					1				2
	減	1	1		1	1		1				5
6. 木材	増	3			1						1	5
	減	2	1						1		1	5
7. 薪炭	増									1		1
	減											
8. 石炭	増	1								1		2
	減	1	1									2
9. 金属鉱物	増									1		1
	減											
10. 砂利・砂・石材	増	4	1			1				3		9
	減	5	1					1	1	2		10
11. 工業用非金属鉱物	増	1						1		2		4
	減	1	1						1			3
12. 鉄鋼	増		2		1			2		3		8
	減	2			1			3	1	3		10
13. 非鉄金属	増	1			1							2
	減		1		1			1				3
14. 金属製品	増	1			1	1	3	1		2		9
	減	2	1		1	1	1			1		7
15. 機械	増		2	1	5	4	1		1	2	1	17
	減				1	2	2	3		5		13
16. セメント	増	3	3			2		1		2	1	12
	減	3	1		1	1		1		3		10
17. その他の窯業品	増	2			1			1		1		5
	減									2		2

運輸局		北 海 道	東 北	関 東	北 陸 信 越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄	全 国 計
18.揮 発 油	増				2				1	1		4
	減	1	1									2
19.その他の石油製品	増				2			1				3
	減	4	1						1	1		7
20.コークス・ その他の石炭製品	増											
	減											
21.化 学 薬 品	増											
	減	1	2									3
22.化 学 肥 料	増				1							1
	減	1					1	1	1			4
23.その他の化学工業品	増				1				1	2		4
	減				1			1				2
24.紙 ・ パ ル プ	増	1	1		2	1		2				7
	減	1			3		2	1	2		1	10
25.織 維 工 業 品	増											
	減				1				1			2
26.食 料 工 業 品	増	2	5	1	7		3	6	2	8	1	35
	減	2	3	1	2			2		5	1	16
27.日 用 品	増	2	2		1				2	2	1	10
	減	3		1	3		1			2	2	12
28.その他の製造工業品	増	1	1				1	3	1			7
	減		1	2	1		1					5
29.金 属 く ず	増										1	1
	減							1				1
30.その他のくずもの	増										1	1
	減									1		1
31.動植物性飼・肥料	増	4								1		5
	減	4	1	1	1			2		2		11
32.廃 棄 物	増	2	3					1		1		7
	減		1	1				1				3
33.輸 送 用 容 器	増				1				1	1	1	4
	減				1							1
34.取 り 合 せ 品	増	1		1				2		3		7
	減		1					1				2
35.そ の 他	増	1	2	2	1		3		2			11
	減	1		1		1	2	5		1		11